

56

P 午前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和3年2月21日 9時50分～12時30分)

注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。
 2. 解答方法は次のとおりである。
- (1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 破傷風菌の純粹培養に成功した人物はどれか。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) 102 解体新書を完成させた人物はどれか。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の①をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④	⑤
			↓		
101	●	②	③	④	⑤

答案用紙②の場合、

101	101
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	⑤

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の③と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	①	②	③	④	⑤
			↓		
102	①	②	●	④	●

答案用紙②の場合、

102	102
①	①
②	②
③	→ ●
④	④
⑤	●

- (2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。
 イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は 100 問で解答時間は正味 2 時間 40 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)では 1 つ、(例 2)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

(例 1) 101 破傷風菌の純粋培養に成功した人物はどれか。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例 2) 102 解体新書を完成させた人物はどれか。2 つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例 1) の正解は「1」であるから答案用紙の

問題番号	答
101	

の「答」の欄に

問題番号	答
101	1

と記入すればよい。

(例 2) の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の

問題番号	答
102	

の「答」の欄に

問題番号	答
102	3 5

と記入すればよい。

答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことになるので注意すること。

- (2) ア. (例 1) の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。
イ. (例 2) の質問には 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

◎ 指示があるまで開かないこと。

1 75歳の女性。誤嚥性肺炎。喀痰培養でMRSAを検出した。マスク、手袋、ガウンを装着し病棟個室で肺理学療法を開始した。

感染予防策について正しいのはどれか。

1. N95マスクを装着する。
2. 個室のドアは開放してはならない。
3. ガウンは退室時病室内で脱いで廃棄する。
4. 退室時手袋を装着したままドアノブに触れて開ける。
5. 手袋を装着していれば手指消毒は不要である。

2 心電図(別冊No. 1)を別に示す。

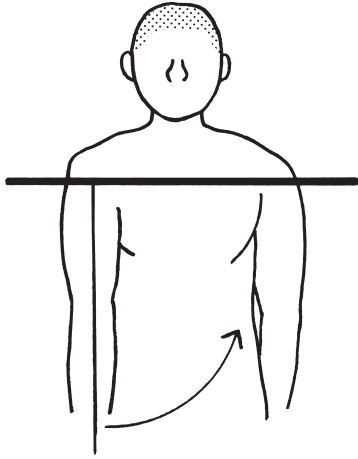
心室性期外収縮はどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

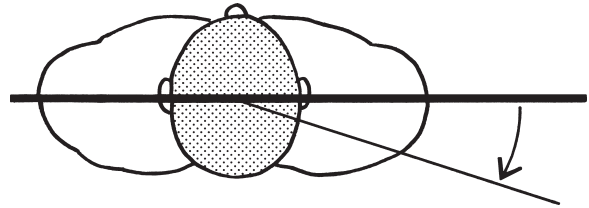
別 冊

No. 1

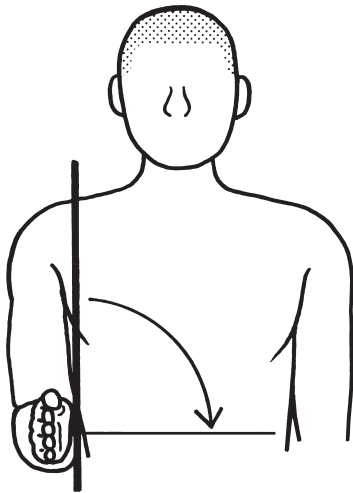
3 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)の基本軸と移動軸で正しいのはどれか。2つ選べ。



1. 肩内転



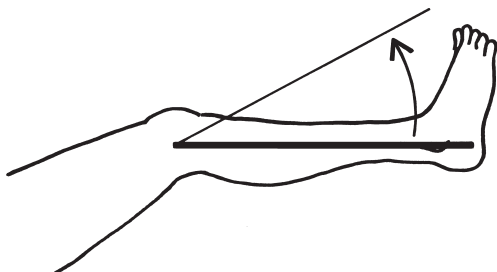
2. 肩甲帯伸展



3. 前腕回内



4. 足部外転

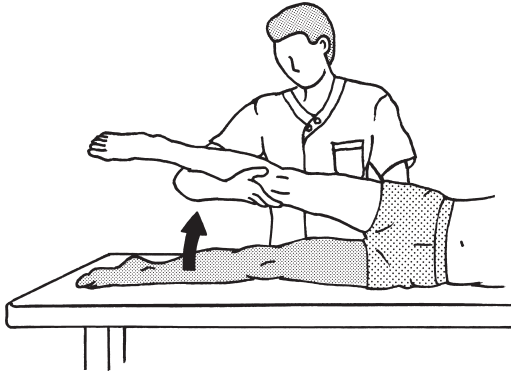


5. 膝伸展

————— : 基本軸

————— : 移動軸

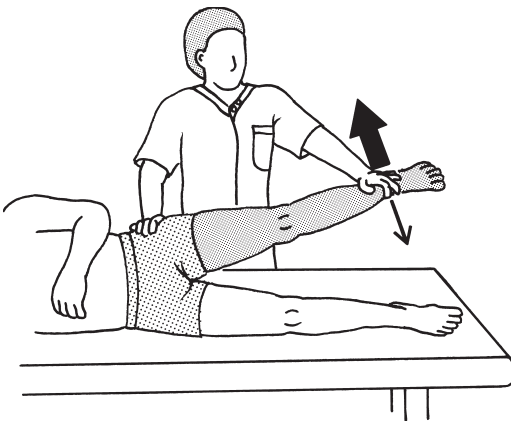
4 Daniels らの徒手筋力テストによる左股関節の検査方法を図に示す。
正しいのはどれか。2つ選べ。



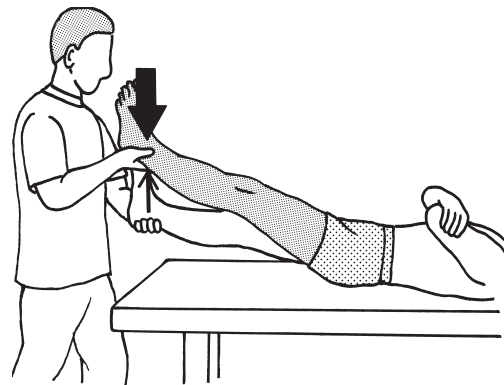
1. 内転の段階3



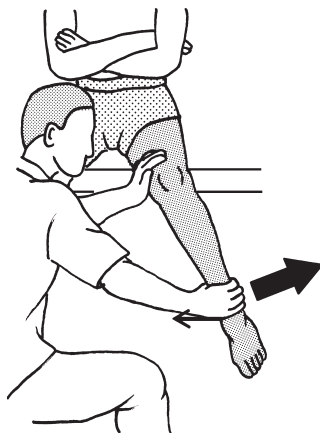
2. 伸展の段階4



3. 外転の段階5



4. 伸展の段階5

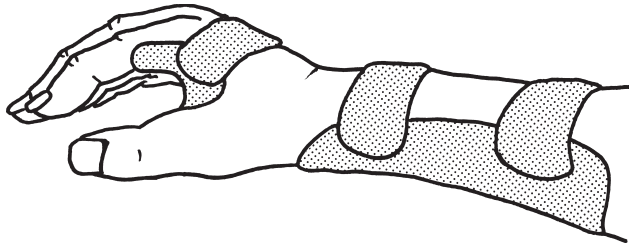


5. 内旋の段階5

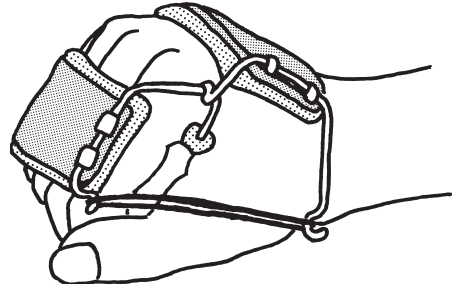
← : 対象者の運動方向

← : 検査者が抵抗を加える方向

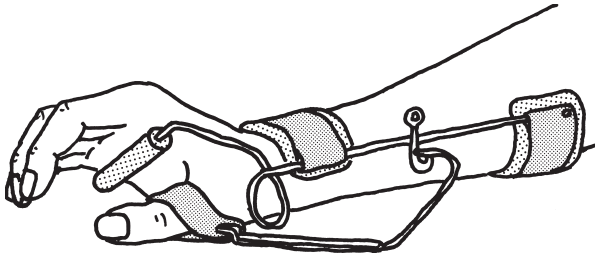
5 正中神経麻痺による猿手変形に対する上肢装具はどれか。



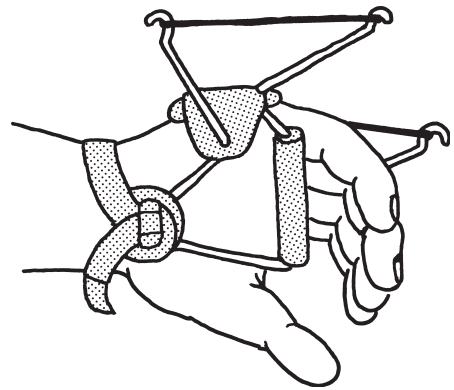
1



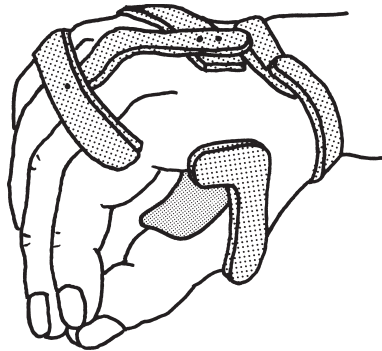
2



3



4



5

6 75歳の男性。肺がん根治術後。

退院時の全身持久性の評価として適切なのはどれか。

1. 片脚立位時間
2. 6分間歩行テスト
3. 10 m 最大歩行速度
4. five times sit to stand test
5. Timed Up and Go Test〈TUG〉

7 78歳の女性。自宅玄関で転倒してから起立歩行不能となり救急搬送された。来院時の単純エックス線画像(別冊No. 2)を別に示す。

最も考えられるのはどれか。

1. 股関節脱臼
2. 大腿骨頸部骨折
3. 大腿骨骨頭骨折
4. 大腿骨転子下骨折
5. 大腿骨転子部骨折

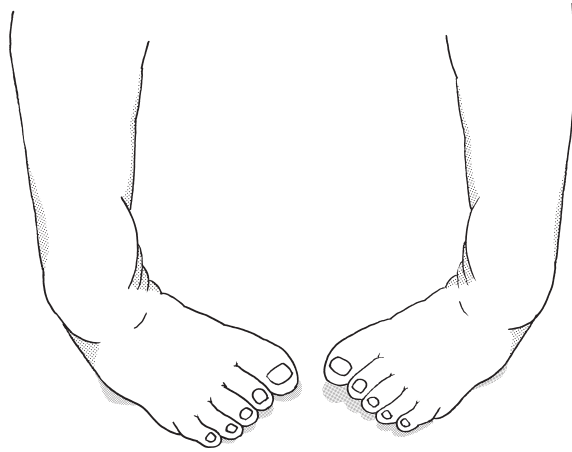
別 冊

No. 2

8 6歳の男児。潜在性二分脊椎。足部の変形を図に示す。

MMTを行ったところ、大腿四頭筋の筋力は5、内側ハムストリングスは3、前脛骨筋は3、後脛骨筋は2であった。

Sharrard の分類による障害レベルはどれか。



1. I 群
2. II 群
3. III 群
4. IV 群
5. V 群

9 75歳の女性。16年前に左上肢の安静時振戦が出現し、その後左下肢にも認められ動作緩慢となった。近医脳神経内科を受診し Parkinson 病と診断され L-dopa の内服治療が開始された。開始当初は L-dopa の効果を認めたが、パーキンソニズムの増悪に伴い徐々に L-dopa を増量された。最近 L-dopa 服用後 30 分程度で突然動けなくなり、1 日の中で突然の無動を何度も繰り返すという。

この現象はどれか。

1. wearing-off 現象
2. Westphal 現象
3. pusher 現象
4. on-off 現象
5. frozen 現象

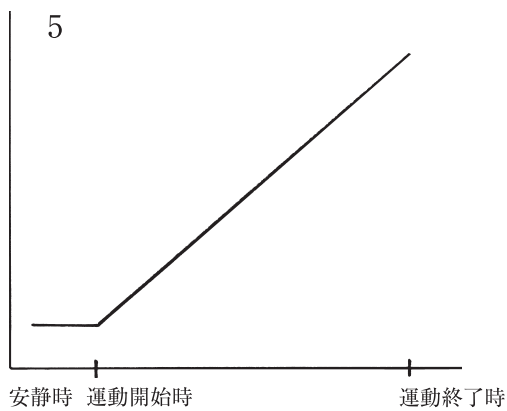
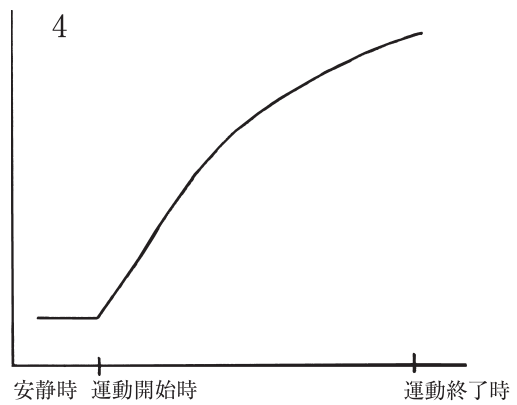
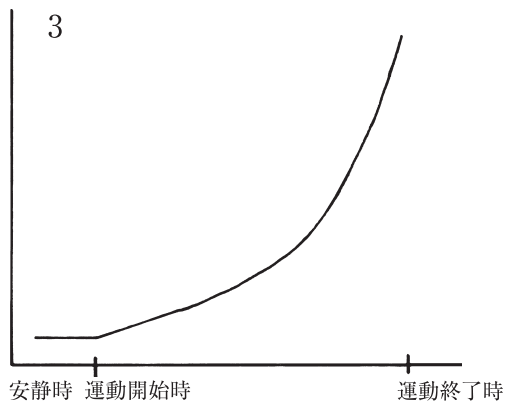
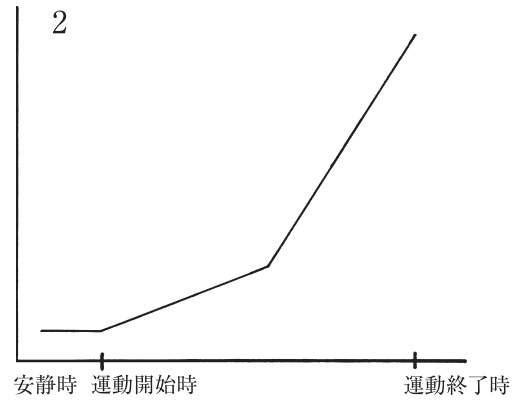
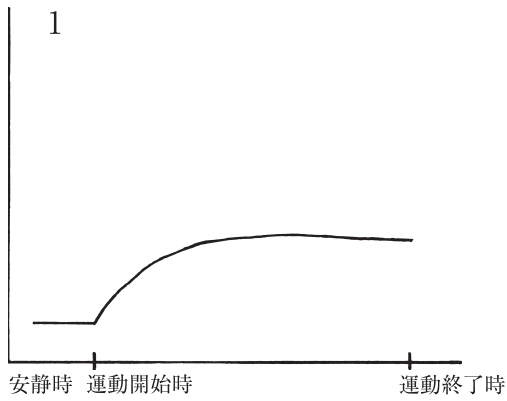
10 52歳の女性。廃用による身体機能の全般的な低下によりバランス能力低下があり、バランス能力の改善を目的とした運動療法を行っている。開始当初、立位保持も困難であったが、現在は立位で物的な介助がなくても左右前後の重心移動が可能となってきた。歩行は平行棒内で両手を支持して軽介助である。

次に行うバランス練習として最も適切なのはどれか。

1. 杖歩行練習
2. 上肢支持なしのタンデム歩行練習
3. 上肢支持なしの立位で外乱を加える練習
4. 片側上肢を支持した立位で下肢のステップ練習
5. 両上肢でボールを保持しながら立位重心移動練習

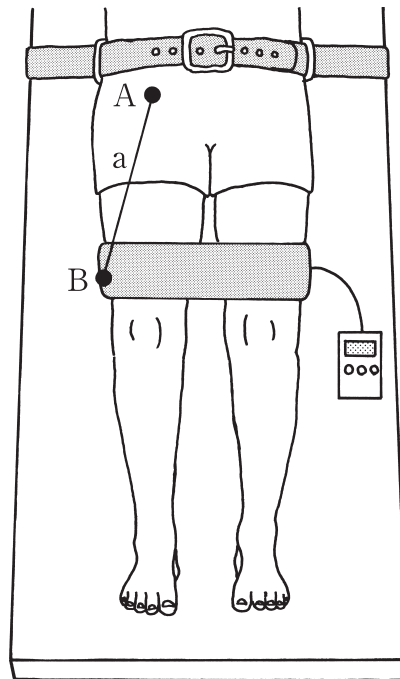
11 健常成人に対して自転車エルゴメーターを用いて 10 Watts から開始し、1 分間に 15 Watts 増加させるランプ負荷法で自覚的 maximum 運動強度まで運動負荷を行った。その際の呼吸循環代謝指標の変化を図に示す。縦軸は一回拍出量、横軸は時間経過を示す。

一回拍出量の変化を示すのはどれか。



12 図に示す方法で股関節に 30 Nm の外転トルクを生じさせる等尺性筋力増強運動を行った。

作用点 B の力として正しいのはどれか。



A : 股関節中心

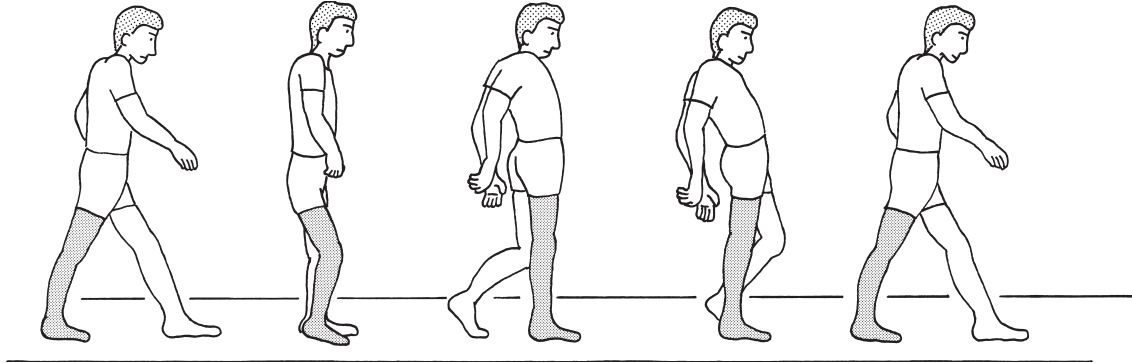
B : 作用点

a : A-B の長さ 30 cm

1. 5.1 kgf
2. 10.2 kgf
3. 15.3 kgf
4. 20.4 kgf
5. 25.5 kgf

13 歩行パターンを図に示す。

筋力低下を生じている筋はどれか。



1. 下腿三頭筋
2. 前脛骨筋
3. 大殿筋
4. 中殿筋
5. 長内転筋

14 75歳の女性。左膝痛を訴え、関節可動域が伸展 -10° 、屈曲 95° に制限されている。来院時のエックス線写真(別冊No. 3)を別に示す。

膝関節拘縮に対する治療で正しいのはどれか。

1. CPMを行う。
2. 大腿を固定して伸張を加える。
3. 疼痛を感じるレベルの矯正力を加える。
4. 動的膝装具は用いない。
5. 連続ギプス法では1日ごとに 5° ずつ矯正位を強める。

別冊
No. 3

次の文により 15、16 の問いに答えよ。

45歳の女性。3日前、自宅で荷物を持ち上げた際に、腰部と左下腿の後面から足背外側部にかけての強い痛みがあった。安静にしていたが、疼痛が軽快しないため受診し、腰椎椎間板ヘルニアと診断された。

15 最も疑われる病変部位はどれか。

1. L1/2
2. L2/3
3. L3/4
4. L4/5
5. L5/S1

16 発症から2か月が経過し、足背外側部の疼痛と安静時の腰痛は改善したが、労作時に軽度の腰痛が続いているため再度受診した。

理学療法として適切でないのはどれか。

1. TENS
2. ホットパック
3. Williams 型装具の装着
4. 体幹筋群の筋力トレーニング
5. ハムストリングスのストレッチング

17 52歳の女性。起床時の頭痛と嘔気を主訴に脳神経外科を受診した。頭部造影MRI T1強調像(別冊No. 4)を別に示す。

頭蓋内腫瘍摘出術が予定されており、術前より理学療法が依頼された。

神経症候として認める可能性が最も低いのはどれか。

1. 失語
2. 拮抗失行
3. 情緒障害
4. 注意障害
5. 遂行機能障害

別冊

No. 4

18 45歳の女性。遠位型ミオパチー。下肢筋力低下が徐々に進行し両側の下垂足を認める。最近つまずいて転倒することや捻挫することが多くなり装具を検討し歩行の改善を目指すことになった。下肢筋力を表に示す。

最も適切な装具はどれか。

		右	左
股関節	屈曲	2	2
	外転	2	2
	伸展	2	2
膝関節	屈曲	2	2
	伸展	3	3
足関節	背屈	1	1
	底屈	1	1

1. PTB 短下肢装具
2. 足関節軟性装具
3. スウェーデン式膝装具
4. 金属支柱付き長下肢装具
5. プラスチック短下肢装具

19 呼吸機能検査、血液ガス検査の結果を示す。

この結果の解釈として正しいのはどれか。2つ選べ。

呼吸機能検査	%VC 54 %、FEV ₁ % 82 %、静肺コンプライアンス 0.09 L/cmH ₂ O (基準値 0.15~0.30)
血液ガス検査	PaO ₂ 66 Torr、PaCO ₂ 32 Torr、HCO ₃ ⁻ 23.0 mEq/L、pH 7.48

1. 気道狭窄
2. 肺胞低換気
3. 呼吸性アルカローシス
4. 拡散障害による高二酸化炭素血症
5. 肺コンプライアンスの低下による拘束性換気障害

20 68歳の男性。2型糖尿病、脂質異常症。身長 160 cm、体重 85.0 kg、体脂肪率 38 %。血液検査は、HbA1c 8.2 %、空腹時血糖 145 mg/dL。仕事は管理職、デスクワーク中心で一日の歩数は 3,550 歩(同年代歩数 7,157 歩)。筋力低下、感覚障害、関節可動域制限は認めない。

運動療法で誤っているのはどれか。

1. 食事の1時間後に実施する。
2. 筋力増強運動は週2~3回行う。
3. 身体活動量増加のための生活指導を行う。
4. 有酸素運動は1回10分、週に合計40分程度行う。
5. 有酸素運動の運動強度は最大酸素摂取量の50%程度とする。

21 理学療法士の守秘義務を規定するのはどれか。

1. 憲法
2. 民法
3. 医師法
4. 医療法
5. 理学療法士及び作業療法士法

22 65歳以上の要介護者または要支援の認定を受けた人で介護が必要となった原因の割合(平成28年度国民生活基礎調査)が最も高いのはどれか。

1. 糖尿病
2. 認知症
3. 関節疾患
4. 骨折・転倒
5. 高齢による衰弱

23 一次予防はどれか。

1. 高血圧症患者の運動療法
2. 脳出血患者の合併症予防
3. 脳梗塞患者の再発予防教育
4. メタボリックシンドロームの予防教育
5. 糖尿病性足病変患者の筋力トレーニング

24 感覚機能について正しいのはどれか。

1. 聴覚路は上側頭回に至る。
2. 視覚路は内側膝状体を通る。
3. 深部覚は脊髓視床路を上行する。
4. 痛覚は脊髓内で後索を上行する。
5. 味覚は副神経を經由して伝わる。

25 運動学習について正しいのはどれか。

1. 固有感覚情報は影響しない。
2. 言語学習よりも保持期間が短い。
3. 学習課題の類似性に影響を受ける。
4. 前の学習が後の学習を妨害することを正の転移という。
5. 課題の種類にかかわらず覚醒レベルが高いと学習効果が高くなる。

26 加齢により増加するのはどれか。

1. 脳血流量
2. 肺残気量
3. 基礎代謝量
4. 消化液分泌量
5. メラトニンの夜間分泌量

27 発症後1か月の脳卒中片麻痺患者。

2か月後に予定されている退院時の歩行能力の目標を設定するための情報として、優先度が最も低いと考えられるのはどれか。

1. 画像所見
2. 糖尿病の合併
3. 発症前のADL
4. 歩行能力の回復経過
5. Brunnstrom法ステージの回復経過

28 四肢長計測の起点または終点の指標となるのはどれか。2つ選べ。

1. 肩峰の最前端部
2. 上腕骨外側上顆の外側突出部
3. 上前腸骨棘の最上端部
4. 大転子の最上端部
5. 腓骨頭の最上端部

29 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で矢状面上の角度を測定するのはどれか。2つ選べ。

1. 肩伸展
2. 手尺屈
3. 股外転
4. 膝屈曲
5. 胸腰部回旋

30 第Ⅶ脳神経の検査はどれか。

1. 眼球運動
2. 眼輪筋筋力
3. 咀嚼筋力
4. 調節反射
5. 軟口蓋反射

31 GMFM で正しいのはどれか。

1. 4 領域 88 項目で構成される。
2. 各項目の判定は 0～4 の 5 段階評価である。
3. 脳性麻痺のため標準化された発達評価である。
4. 健常 3 歳児であれば達成可能な項目で構成される。
5. 次に獲得すべき能力を Item Map により予測・検討できる。

32 大腿義足の遊脚相において、健側で爪先立ちが観察された。

原因として正しいのはどれか。

1. 義足長が長すぎる。
2. ソケットの内転角度が大きすぎる。
3. 切断側の股関節外転筋力が不足している。
4. 切断側の股関節伸展筋力が不足している。
5. ソケットの初期屈曲角度が不足している。

33 Trendelenburg 徴候が生じやすいのはどれか。

1. 変形性股関節症
2. 変形性足関節症
3. 変形性膝関節症
4. 腰椎分離症
5. 腰部脊柱管狭窄症

34 病巣と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 延髄背外側 ————— 片麻痺
2. 内包前脚 ————— 感覚障害
3. 前頭葉 ————— 半側空間無視
4. 歯状核 ————— 協調運動障害
5. 視床 ————— 嚥下障害

35 ASIA の評価法について正しいのはどれか。

1. 評価は座位で行う。
2. 包括的な神経学的評価法である。
3. 神経学的損傷高位を決定するにあたり深部腱反射を用いる。
4. 感覚は NT<not testable>の場合を除くと 3 段階で評価する。
5. 関節可動域に制限がある場合の運動はすべて NT<not testable>と記載する。

36 失語症の型と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. Wernicke 失語 ————— 聴覚理解が保たれる。
2. 超皮質性失語 ————— 復唱が障害される。
3. Broca 失語 ————— 自発言語が障害される。
4. 伝導失語 ————— 復唱が保たれる。
5. 健忘失語 ————— 聴覚理解が障害される。

37 高血糖症状はどれか。

1. 多 飲
2. 動 悸
3. 頻 脈
4. 空腹感
5. 手指振戦

38 椅子からの立ち上がり動作を観察したところ、両上肢で大腿前面を支持し、過度に体幹を前傾した状態から殿部離床し、その後体幹を前傾したまま早期に膝関節の伸展が見られた。最後に体幹を伸展し立ち上がりを終了した。この間、顕著な姿勢の動揺は認めなかった。

この動作異常が生じている心身機能・身体構造の問題点として最も考えられるのはどれか。

1. 無 動
2. 片麻痺
3. 運動失調
4. 両下肢筋力低下
5. 両股関節伸展可動域制限

39 静的立位で下腿義足の足部内側が床から浮き上がった。

原因はどれか。

1. toe-out 角が大きすぎる。
2. 初期屈曲角が不足している。
3. 初期内転角が不足している。
4. ソケットの外壁が高すぎる。
5. 足部が外側に位置しすぎている。

40 Wallenberg 症候群に関連する摂食嚥下障害はどれか。

1. 半側空間無視による先行期障害
2. 観念失行による準備期障害
3. 顔面麻痺による口腔期障害
4. 食道入口部開大不全による咽頭期障害
5. 胃食道逆流による食道期障害

41 関節リウマチに対する運動療法で正しいのはどれか。

1. 活動期では関節可動域運動は行わない。
2. 環軸椎亜脱臼では頸椎可動域運動を行う。
3. 関節強直では関節可動域運動を行う。
4. 等尺性運動で筋力を維持する。
5. ムチランス変形では他動運動を行う。

42 車椅子からベッドへの移乗動作において、フットサポートに足を乗せたまま立ち上がろうとすることに関連する病巣はどれか。

1. 前頭葉
2. 視床
3. 被殻
4. 中脳背側
5. 小脳虫部

43 高齢者の転倒で生じやすいのはどれか。

1. 距骨骨折
2. 脛骨骨折
3. 肩甲骨骨折
4. 踵骨骨折
5. 橈骨骨折

44 筋萎縮性側索硬化症の進行により非侵襲的陽圧換気(NPPV)療法を適応すべき数値はどれか。

1. PaO₂ : 80 mmHg
2. PaCO₂ : 60 mmHg
3. 睡眠中 SpO₂ : 94 %
4. 最大吸気圧 : 75 cmH₂O
5. % 努力性肺活量(% FVC) : 85 %

45 悪性腫瘍の合併がない初発の皮膚筋炎で、死因となる頻度が最も高い合併症はどれか。

1. 肝不全
2. 腎不全
3. 心筋梗塞
4. 間質性肺炎
5. ステロイドミオパチー

46 糖尿病患者の運動療法を中止すべき状態はどれか。

1. 発汗
2. 冷汗
3. 体温 37.0℃
4. Borg 指数 13
5. 脈拍数 110/分

47 緩和ケア病棟におけるがん患者の理学療法で正しいのはどれか。

1. QOL より機能回復を優先する。
2. 疼痛に対して温熱療法は禁忌である。
3. リンパ浮腫に対して理学療法は行わない。
4. チームアプローチよりも個人的な関わりを重視する。
5. 骨髄抑制の状態に合わせて理学療法の内容を変更する。

48 法律とその規定内容の組合せで誤っているのはどれか。

1. 医療法 ————— インフォームドコンセント
2. 介護保険法 ————— 義肢の支給
3. 健康増進法 ————— がん検診
4. 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の ————— 車椅子使用者用の駐車場
促進に関する法律〈バリアフリー新法〉 確保
5. 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に ————— 自立生活援助
支援するための法律〈障害者総合支援法〉

49 訪問理学療法で正しいのはどれか。

1. 環境的側面のみへアプローチを行う。
2. 歩行や移動に関する支援要望が多い。
3. 対象者の多くは交通事故による外傷である。
4. ゴール設定の際には家族の要望を最優先する。
5. バイタルチェックは看護師が実施しなければならない。

50 介護保険制度の対象となるのはどれか。

1. 居室の増築
2. 廊下幅の拡張
3. 照明器具の変更
4. 床面材料の変更
5. 寝室スペースの増築

51 大菱形骨に接するのはどれか。

1. 月状骨
2. 三角骨
3. 舟状骨
4. 有鈎骨
5. 有頭骨

52 橈骨粗面に付着する筋はどれか。

1. 肘筋
2. 上腕筋
3. 腕橈骨筋
4. 上腕二頭筋
5. 橈側手根屈筋

53 大転子に付着する筋はどれか。2つ選べ。

1. 腸骨筋
2. 大殿筋
3. 中殿筋
4. 梨状筋
5. 内閉鎖筋

54 健常成人において脊椎に対する脊髄最下端の位置はどれか。

1. 第9～第10胸椎
2. 第11～第12胸椎
3. 第1～第2腰椎
4. 第3～第4腰椎
5. 第5腰椎～第1仙椎

55 頸動脈小体を支配するのはどれか。

1. 滑車神経
2. 三叉神経
3. 顔面神経
4. 舌咽神経
5. 副神経

56 心臓について正しいのはどれか。

1. 僧帽弁は三尖弁である。
2. 冠静脈洞は右心房に開口する。
3. 大動脈弁には腱索が付着する。
4. 冠動脈は大動脈弓から分岐する。
5. 右冠動脈は前下行枝と回旋枝に分かれる。

57 上大静脈と下大静脈とを結ぶ静脈はどれか。

1. 奇静脈
2. 鎖骨下静脈
3. 上腸管膜静脈
4. 腎静脈
5. 脾静脈

58 筋と支配神経の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

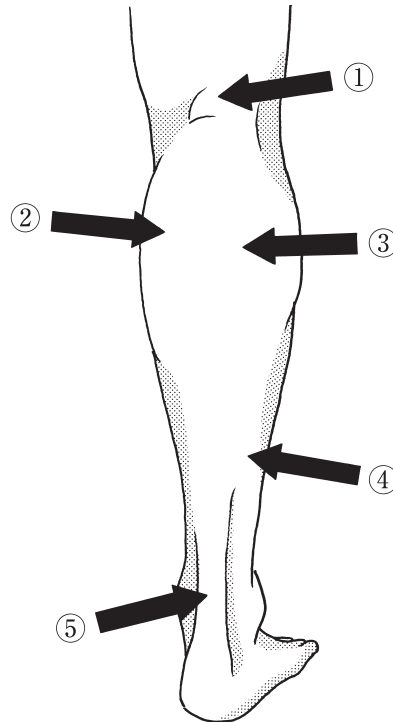
1. 下斜筋 ————— 外転神経
2. 下直筋 ————— 視神経
3. 上眼瞼挙筋 ———— 動眼神経
4. 上斜筋 ————— 滑車神経
5. 内側直筋 ————— 眼神経

59 中耳について正しいのはどれか。

1. キヌタ骨は鼓膜に接している。
2. 耳管に分布する動脈は迷路動脈である。
3. アブミ骨筋の支配神経は下顎神経である。
4. キヌタ骨の短脚はアブミ骨と関節を形成する。
5. アブミ骨底は内耳の前庭窓にはまり込んでいる。

60 右下腿後面を図に示す。

ヒラメ筋の触知部位で最も適切なのはどれか。



1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

61 細胞小器官について誤っているのはどれか。

1. ミトコンドリアはDNAを持つ。
2. リソソームは加水分解酵素を持つ。
3. Golgi装置はリボソームを形成する。
4. ペルオキシソームは酸化酵素を持つ。
5. 粗面小胞体ではタンパク質が合成される。

62 骨格筋について正しいのはどれか。

1. 活動電位は筋収縮に遅れて発生する。
2. 伸張反射の感覚受容器は筋紡錘である。
3. 筋に単一刺激を加えると強縮が生じる。
4. 神経筋接合部にはアドレナリン受容体が分布する。
5. 筋小胞体から放出された Na^+ がトロポニンに結合する。

63 微小循環について誤っているのはどれか。

1. 物質輸送機構は拡散である。
2. メタ細動脈は平滑筋を持つ。
3. 毛細血管は内皮細胞を持つ。
4. 血流速度は毛細血管の細静脈端で最速になる。
5. 細動脈は血管抵抗を決定する主要部位である。

64 平衡聴覚器について正しいのはどれか。

1. 三半規管は重力に反応する。
2. 球形囊斑に聴覚受容器がある。
3. 卵形囊は角加速度に反応する。
4. 三半規管の受容器は膨大部稜にある。
5. 三半規管のクプラは耳石膜で覆われている。

65 心臓について正しいのはどれか。

1. 冠動脈の血流は収縮期に増加する。
2. 左心房と左心室は同時に収縮が始まる。
3. 心筋は伸張されると収縮力が低下する。
4. 心筋の収縮は H^+ の細胞内流入により生じる。
5. ノルアドレナリンは心筋収縮力を増加させる。

66 膵液について正しいのはどれか。

1. 酸性を示す。
2. 脂肪分解酵素は含まれない。
3. 膵液の主成分はインスリンである。
4. 膵液分泌量は1日約 300 mL である。
5. セクレチンは膵液の分泌を促進させる。

67 蓄尿時に作用する体性運動神経はどれか。

1. 陰部神経
2. 下殿神経
3. 下腹神経
4. 骨盤神経
5. 閉鎖神経

68 副腎皮質ホルモンについて正しいのはどれか。

1. 血糖値に影響しない。
2. ストレス時に変動しない。
3. 早朝に分泌が最大となる。
4. ペプチドホルモンである。
5. アドレナリンから生合成される。

69 エネルギー代謝率の計算式で正しいのはどれか。

1. 内的仕事量 ÷ 全仕事量
2. 労作代謝量 ÷ 基礎代謝量
3. 基礎代謝量 ÷ 基準体表面積
4. 労作代謝量 ÷ 安静時代謝量
5. 基礎代謝実測値 ÷ 基礎代謝基準値

70 筋の作用で正しいのはどれか。

1. 内側翼突筋は両側が同時に作用すると下顎骨を前に突き出す。
2. 咬筋は片側だけが作用すると下顎骨を同側に移動させる。
3. オトガイ横筋は下唇を突き出し小さなくぼみを作る。
4. 大頬骨筋は口角を引き上げる。
5. 皺眉筋は眉毛を挙上する。

71 嚥下反射時に活動する筋の中で舌骨下降作用があるのはどれか。

1. 顎舌骨筋
2. 顎二腹筋
3. 茎突舌骨筋
4. 甲状舌骨筋
5. オトガイ舌骨筋

72 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)における胸腰部回旋の基本軸で正しいのはどれか。

1. 仙骨後面
2. 肩峰を通る床への垂直線
3. 両側の上後腸骨棘を結ぶ線
4. ヤコビー〈Jacoby〉線の中心に立てた垂直線
5. 第7頸椎棘突起と第1仙椎の棘突起を結ぶ線

73 上肢の筋と作用の組合せで正しいのはどれか。

1. 上腕二頭筋 ————— 肩関節外旋
2. 上腕三頭筋 ————— 肩関節内旋
3. 腕橈骨筋 ————— 前腕回内
4. 円回内筋 ————— 肘関節伸展
5. 上腕筋 ————— 前腕回外

74 運動学習におけるパフォーマンスの知識はどれか。

1. フィギュアスケートの得点
2. 投球のストライク判定
3. 50 m 平泳ぎのタイム
4. サッカーのゴール数
5. 宙返りの空中姿勢

75 心電図の房室ブロックの所見で正しいのはどれか。

1. Wenckebach 型房室ブロックでは PR 間隔が不変である。
2. 第 1 度房室ブロックでは QRS 波は脱落しない。
3. 第 1 度房室ブロックでは PR 間隔が 0.1 秒以上になる。
4. 第 3 度房室ブロックでは P 波が完全に脱落している。
5. Mobitz II 型房室ブロックでは PR 間隔が徐々に延長する。

76 腱板断裂の範囲の把握に最も有用な検査はどれか。

1. MRI
2. 単純 CT
3. 血管造影
4. 単純エックス線
5. 骨シンチグラフィ

77 機能的イレウスの原因となるのはどれか。

1. 大腸癌
2. 腸重積
3. 長期臥床
4. 内ヘルニア
5. 腹腔内癒着

78 記憶過程の要素として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 記 銘
2. 計画立案
3. 想 起
4. 転 換
5. 配 分

79 イラスト風に描かれた人物のセリフを書き込む形式の心理検査はどれか。

1. SCT
2. P-F スタディ
3. バウムテスト
4. モーズレイ性格検査〈MPI〉
5. Revised NEO Personality Inventory〈NEO-PI-R〉

80 認知療法を発展させたのは誰か。

1. A. Beck
2. S. Freud
3. C. Rogers
4. H. Eysenck
5. H. Sullivan

81 老年期における精神保健上の問題として正しいのはどれか。

1. 自我同一性の獲得
2. エディプス葛藤
3. 空の巣症候群
4. モラトリアム
5. 社会的孤立

82 Tinel 徴候が陽性となるのはどれか。

1. 視床症候群
2. 手根管症候群
3. Cushing 症候群
4. 内側縦束症候群
5. Shy-Drager 症候群

83 第7頸髄後根の障害で生じるのはどれか。

1. 下垂手
2. Horner 徴候
3. 腕橈骨筋の萎縮
4. 上腕三頭筋腱反射の低下
5. 上腕二頭筋の線維束性収縮

84 切断について正しいのはどれか。

1. 上腕切断(短断端)では肩内転拘縮を生じやすい。
2. 前腕切断(中断端)では肘伸展拘縮を生じやすい。
3. Chopart 関節離断では足内反変形を生じやすい。
4. Lisfranc 関節離断では足外反変形を生じやすい。
5. 大腿切断(標準切断)では股内転拘縮を生じやすい。

85 悪性リンパ腫について正しいのはどれか。

1. 腫瘍形成は稀である。
2. 多発性骨髄腫は T 細胞に由来する。
3. B 細胞性リンパ腫が 15% を占める。
4. 非ホジキンリンパ腫が 5% を占める。
5. リンパ球を発生母体とする腫瘍である。

86 骨折の名称と部位の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. Cotton 骨折 ————— 大腿骨
2. Dupuytren 骨折 ————— 第1中手骨
3. Galeazzi 骨折 ————— 橈骨
4. Jefferson 骨折 ————— 環椎
5. Straddle 骨折 ————— 上腕骨

87 視床痛について正しいのはどれか。

1. CRPS〈複合性局所疼痛症候群〉type I に分類される。
2. 発症頻度は脳卒中患者の30%程度である。
3. 脳卒中発症直後に生じる症例が多い。
4. 鎮痛剤は無効であることが多い。
5. 手部に腫脹を伴う。

88 心原性脳塞栓症の原因として誤っているのはどれか。

1. 卵円孔開存
2. 拡張型心筋症
3. 三尖弁狭窄症
4. 慢性心房細動
5. 感染性心内膜炎

89 進行性核上性麻痺について正しいのはどれか。

1. 延髄が萎縮する。
2. L-Dopa が著効する。
3. 頸部が前屈位となる。
4. 垂直方向の眼球運動障害を呈する。
5. MIBG 心筋シンチグラフィーで心/縦隔比が低下する。

90 疾患と遺伝形式の組合せで正しいのはどれか。

1. 筋強直性ジストロフィー ————— 常染色体優性遺伝
2. 脊髄性進行性筋萎縮症 ————— 伴性劣性遺伝
3. Becker 型筋ジストロフィー ————— 常染色体劣性遺伝
4. Duchenne 型筋ジストロフィー ————— 常染色体優性遺伝
5. Huntington 病 ————— 伴性劣性遺伝

91 急性心筋梗塞の発症後の血液検査所見で上昇がみられないのはどれか。

1. クレアチニン
2. トロポニン T
3. ミオグロビン
4. 乳酸脱水素酵素(LD)
5. クレアチンキナーゼ(CK)

92 遠城寺式乳幼児分析的発達検査(九大小児科改訂版)で1歳6か月までに獲得されるのはどれか。

1. ボールを前にける。
2. 積木を横に二つ以上ならべる。
3. お菓子のつつみ紙をとって食べる。
4. 親から離れて遊ぶ。
5. 大きい、小さいがわかる。

93 COPD について正しいのはどれか。

1. 肺癌を合併することは稀である。
2. 安静時エネルギー消費量が減少している。
3. 増悪時の補助換気療法は非侵襲的陽圧換気(NPPV)が用いられる。
4. 呼吸リハビリテーションを行っても抑うつ・不安の改善は得られない。
5. COPD assessment test(CAT)は点数が高いほどQOLが高いことを示す。

94 介護保険制度について正しいのはどれか。

1. 財源は全て公費で負担される。
2. 都道府県の担当部署に申請する。
3. 利用者は自由に事業者を選定できる。
4. 第二号被保険者の対象年齢は65歳以上である。
5. 介護度は介護認定審査会の1次判定で決定される。

95 de Quervain〈ドケルバン〉病で腱鞘炎を起こすのはどれか。

1. 固有示指伸筋腱
2. 尺側手根伸筋腱
3. 総指伸筋腱
4. 長母指外転筋腱
5. 長母指伸筋腱

96 我が国の 65 歳以上の高齢者における軽度認知障害〈MCI〉の有病率として適切なものはどれか。

1. 5%
2. 15%
3. 35%
4. 50%
5. 70%

97 知的障害がみられうる疾患の中で、皮膚色素沈着(カフェオレ斑)が特徴的なものはどれか。

1. 結節性硬化症
2. 神経線維腫症
3. ネコ鳴き症候群
4. Williams 症候群
5. Prader-Willi 症候群

98 曝露反応妨害法が有効なのはどれか。

1. 強迫性障害
2. 身体化障害
3. 神経性過食症
4. 全般性不安障害
5. PTSD〈外傷後ストレス障害〉

99 ナルコレプシーに認められない症状はどれか。

1. 睡眠発作
2. 睡眠麻痺
3. 入眠時幻覚
4. けいれん発作
5. 情動脱力発作

100 てんかんについて正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 単純部分発作は意識障害を伴わない。
3. 高齢になるとてんかんの発症率は低下する。
4. 熱性けいれんの半数以上はてんかんに移行する。
5. 症候性てんかんは特発性てんかんに比べ予後が良い。